

平成26年度 第1回 府中市男女共同参画推進懇談会  
議事録

1 日時 平成26年4月24日(木) 午前10時～正午

2 場所 府中市役所 北庁舎3階 第2会議室

3 出席

(1) 委員

諸橋会長、内海副会長、鈴木委員、小林委員、芝辻委員、桑田委員、阿部委員、  
富田委員、三本委員、谷田部委員

(2) 事務局

村越市民活動支援課長、岩田市民活動支援課長補佐兼男女共同参画担当副主幹、  
肥後男女共同参画推進係長、武富事務職員

4 欠席

宮浦委員、矢島委員

5 傍聴者

2名

6 会議内容

(1) 開会

村越市民活動支援課長より挨拶

(2) 委員の紹介

新任の桑田委員から挨拶

(3) 配付資料の確認

資料1 第7期府中市男女共同参画推進懇談会委員名簿

資料2 府中市男女共同参画計画の推進について 中間報告書

資料3 平成26年度府中市男女共同参画推進懇談会年間日程(案)

資料4 体系図対照表

資料5 第5次府中市男女共同参画計画(案)

(4) 前回議事録の確認

会長より確認を行い、異議なく承認された。

(5) 報告事項

ア 府中市男女共同参画計画の推進について(中間報告書)について  
諸橋会長から次のとおり報告があった。

4月11日（金）に内海副会長と市長訪問し、平成25年度に当懇談会で作成した中間報告書を提出しました。

配偶者暴力対策基本計画を第5次府中市男女共同参画計画の体系図に盛り込んだことについての報告と、第三者評価について市への要望を含めて報告しました。

イ 平成26年度府中市男女共同参画推進懇談会の年間日程（案）について資料3のとおり事務局から説明した。

(6) 協議事項について

ア 第5次府中市男女共同参画計画の策定について資料4について、事務局より説明を行った。

第4次計画では3つの目標を柱としていましたが、第5次計画では、項目の見直しを行い、4つの目標を掲げ、昨今の社会情勢の変化に対応できる計画とします。

体系図については、第6期の懇談会から第5次計画の策定に伴い要望のあった事項を反映し、平成25年度末に市が決定したものです。

このことについて、次のとおり各委員より質問・意見があり、協議した。

**副会長** 「性の商品化」という言葉を削除したのは何故か。

「性の商品化」のような性に関する暴力や暴力表現、人身売買のような性と暴力についての文言を第3目標部分に追加してほしい。

**事務局** 国や東京都の計画を参考にした結果、「性の商品化」という表現は削除しました。

**委員** 「性の商品化防止」というのは、犯罪に係ることであり、市ではなく警察の範囲であるので、それを体系図の中に市の施策として盛り込むのは難しいのではないかと。また、被害者・加害者にならないための教育という面では、施策（23）「年齢に応じた性に関する正確な知識の習得」中に含まれているのではないかと。

**会長** 今後、第3目標について協議する際に再度協議する。

**委員** 目標Ⅱの「ワーク・ライフ・バランスの推進」は仕事と生活の両立支援の推進であって、施策（11）就業のための支援は、ワーク・ライフ・バランスではないのではないかと。

**事務局** 施策（11）は、社会・地域における男女共同参画として目標Ⅰの施策（6）に移動することとして検討します。

( 施策 (6) に移動することで了承 )

資料5について事務局より説明を行い、次のとおり各委員より質問・意見があり、協議した。

**副会長** 第4次計画と比較して見ると、担当課名が異なるものがある。担当の課が変わったのか。

**事務局** 組織改正により、例えば、「企画課」が「政策課」に、「生涯学習課」が「生涯学習スポーツ課」へ等と名称が変わっているものがあります。

**会長** 施策(1)の事業項目から「すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進」を削除したのはなぜか。

**事務局** 事業項目の中に、さらにさまざまな事業が含まれており、「すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進」というものも含まれています。よって、この取組みがなくなるわけではなく、事業項目名を統合した形になっております。

**会長** 事業項目は事務局案のとおりとし、実際の事業の中で見ていくことにしましょう。

**副会長** 施策(6)学校教育における男女平等の推進について、発達段階における教育というのは、事業項目に「発達段階に応じた性教育等の実施」とあるように、性教育の意味であると解釈するため、「性教育」という表現にしてはどうか。

**事務局** 性教育だけに限らず、男女平等教育等も含めて広い意味で取り上げております。

( 「～発達段階に応じた男女平等教育を推進します」との表現で了承。 )

**委員** 施策(7)国際理解と国際交流の推進について、事業項目から「女性(女性の)」を削除したのはなぜか。

**事務局** 男女共同参画という視点から、女性だけではなく、女性も男性もという意味から「女性(女性の)」を削除しました。また、現在、東京都の計画も「女性の」ではなく「男女の」としていることも参考にしました。

**委員** 他自治体の中には、LGBT(性自認等)を含めた発想で議論されたものが出てきている。府中市においては、そういった発想で男女共同という議論がされているか。

**事務局** これまでは、そういった観点からの議論はされていません。

**会長** 事業項目はそのままで、各事業における評価の中で、女性の(割合等の)

数値結果についても見ていくこととし、LGBTについては、また人権についての部分で改めて話し合しましょう。

(7) 次回の日程確認

5月23日（金）午後6時半から

場所は、本庁舎会議室

(8) 閉会